

PEM005-05

会場:303

時間:5月26日 15:20-15:35

太陽浮上磁場領域の活動性に関する「ひので」観測による知見 Hinode observations of activities in emerging flux regions

清水 敏文^{1*}

Toshifumi Shimizu^{1*}

¹JAXA 宇宙科学研究所

¹ISAS/JAXA

長い太陽極小期を抜け、ゆっくりであるが太陽活動が徐々に上昇を続け、太陽黒点や活動領域が太陽表面に現れ始めた。黒点は、太陽面下からの磁気浮上によって形成される。浮上活動に伴い、頻繁に発生するマイクロフレアやジェットが観測され、フレアも発生する。さらに、大規模な浮上活動の場合、宇宙天気環境に影響を与える大フレアの発生を引き起こす場合がある。従って、磁気浮上およびそれに対する太陽大気応答を理解していくことは、宇宙天気研究にとって重要なテーマの一つとなっている。太陽観測衛星「ひので」は、今までにない高い解像度で光球磁場・彩層・X線コロナの連続観測を行うことで、浮上磁気活動と大気活動性について観測的研究に取り組んでいる。本講演では、2009年12月29日から31日かけて、浮上前から大きな黒点群の形成までの全過程を1日以上連続観測でとらえた例をもとに、浮上活動と大気活動性について議論する。宇宙天気環境に影響を与えるような大きなフレアは発生しなかったが、マイクロフレアやジェットなどを引き起こす磁場配位が良く分かる。特に、成長する黒点内部でマイクロフレアやジェットが高い頻度で起きていることが観測されており、今まで全く議論されていない磁場配位であり注目される。

キーワード: 太陽, 浮上磁場, フレア, ジェット

Keywords: Sun, Emerging Flux, Flares, Jets